

52年度  
スローガン

# 感謝の心をもって 楽しく経営にのぞもう

6月研修旅行 in 横浜・横須賀 参加者 24名

## 研修1日目（6月8日）

企業訪問では「横浜型地域貢献企業」に認定され、その中でも平成29年度の「プレミアム企業」として表彰された株式会社大川印刷様と株式会社スリーハイ様の2社を訪問しました。両社とも企業の社会的責任（CSR）と地域に密着した経営という2つの視点で、様々な取組みを実践されている企業であり、学びの多い企業訪問となりました。

### 株式会社大川印刷



おもてなしの心いっぱいの看板と  
参加者全員の名前が書かれたウェルカムボード



開会の挨拶をする  
加納会長



自社の取組みを話す  
大川哲郎 社長



大川印刷玄関前で大川社長を囲んでの記念撮影



御礼の挨拶をする  
岸上 監査役



工場内は、環境に配慮したインクの使用により独特の臭いは少ないとのこと。カメラによる異常チェックだけでなく、最後は、人によるチェックをすることで、高品質な製品を提供しています。昔ながらの活版印刷体験もさせていただきました。



### 株式会社スリーハイ



こちらにも参加者全員の名前が書かれた  
ウェルカムボードが待っていました。



社長はじめ社員の方々から会社概要と力を入れている朝礼の取組みについて伺いました。  
工場と言っても、製品は担当者が手作業で仕上げるとのこと、静かです。



主力製品のシリコン  
ラバーヒーター



男澤誠社長



後半は、(一社)横浜もの・まち・ひとづくり事業について伺いました。



男澤社長、社員の皆さんと記念撮影



赤レンガ倉庫（昼食：フィッシャーメンズマーケット）



中華街（夕食：聘珍楼 横濱本店）



進行する足立幹事長 挨拶をする加納会長 乾杯挨拶は平野歴代



フカヒレスープや北京ダックを含んだ豪華中華コースと共に、楽しく交流していました。

中締めは松本相談役

研修2日目（6月9日）

横須賀・軍港めぐり（遊覧船ツアー）

「よこすかYYのりものフェスタ」のイベントと重なり、多くの観光客で賑わっていました。海上自衛隊艦艇の一般公開など、普段は見られない艦船も多く見ることができました。



遊覧船のガイドさんから、ニュースで耳にする「イージス艦」の見分け方などの艦船の種類や名前、役割などを分かりやすく生解説して頂きました。

どぶ板通り（昼食：YOKOSUKA Shell）



横須賀3大グルメ（海軍カレー・ネイビーバーガー・チェリーチーズケーキ）を一度に楽しめるOJBスペシャルプレートを頂きました。

鎌倉（鶴岡八幡宮）



無事、岐阜羽島駅に戻り、旅行の総括をする岸上監査役



## 「研修旅行の思い出」

加納 浩二

今年の研修旅行は横浜に行かせていただきました。都会というイメージをもっていました、研修させていただいた企業様があった場所はどちらもそれほど都会という感じではありませんでした。特に午後から視察させていただいた株式会社スリーハイ様は工場と住宅が混在するような場所にあり、そういった条件が地域とのかかわりを真剣に考えるために必要だったのかなと思われました。

どちらも素晴らしい企業様で社長の考えが良く社員の方々にも浸透している感じがしました。

実際にお伺いした時も私たちを迎えるために打ち合わせやリハーサルを行って迎えていただいたことが伝わってきて本当にこの2社にお伺いすることができて良かったとあらためて感じました。

横浜での夜は幹事長に普段のお礼もかねて一緒に行動しようと思っておりましたが、はぐれてしまい別の方々と楽しんできました。残念ながら途中で雨が降ってきましたが何とか濡れずにホテルに帰りつくことが出来ました。

翌日、鎌倉観光では北野会員がおすすめの「くるみっこ」を何とか買うことが出来ました。持って帰って会社や家庭でふるまいましたが非常に評判が良かったです。

今回の研修旅行が無事、また天気にも恵まれたことは、本当に幹事長の日ごろの行いのおかげだと思います。ありがとうございました。またご参加いただいた会員の皆様のおかげで楽しい、素晴らしい旅行を経験させていただくことが出来ました。本当にありがとうございました。

## 「マイルストーン」

平野 宏司

開国の地、横浜。鎖国政策の江戸幕府が、欧米経済文化の入り口として開港したのが横浜近代化の礎である。

以後の目覚ましい発展の象徴である港湾施設、工場群、高層ビル群と、中華街をはじめとした当時の面影を残す街並みのコントラストを眺めていると、自分の人生の旧から新への節目も、横浜が舞台のひとつだったことを思い出す。

マリントワーに登り、東方を眺めながら見えもしない米国を夢見た10代。

電化商品量販店で年末年始商戦バイトのワープロ販売に励んだ20代。

妹の結婚式で訪れた30代。

そして40代最後の今、たくさんの仲間たちと談笑しながら再び訪れたこの地が、OJB 旅行現役参加の最後となる。

今後ともOJB 研修旅行が、会員個々そして会全体の思い出深い学びの場となることを願い、かつ今回のお礼を申し上げます。

## 「横浜の洗練された中小企業から学ぶこと」

松本 正平

「CSRは中小企業こそやるべきだよ。」という大川社長の言葉に、ホワイトボードに書かれた「〇〇を通じて社会を変えたい」という言葉。「温かさを、つくる。」そして、「温かさを、つなぐ。」という株式会社スリーハイさんの会社コンセプト。

同世代の、また先代から会社を引き継いだ2人の経営者の鮮やかな言葉に、横浜という洗練された街で、リーディングカンパニーとなっている肝を感じました。そして、2社に共通していることは、社長と従業員との距離の近さ。お二人とも方向性は示しながら、実務については周りから

のボトムアップを重視する。

2社とも楽しそうに働く社員の方々がまぶしかったです。「うちの会社も精一杯頑張れば届くかな。」

そんな考えが浮かんだ会社を研修に選んでいただけた加納会長、足立幹事長に感謝です。

## 「ありがとうございます。」

浅野 信哉

広島、東京、ニューヨーク、長崎、静岡、フィンランド、東京、福岡、沖縄、大阪、金沢、そして神奈川横浜。

入会してから、それぞれの年度にいろんなところに連れて行っていただき研修させていただきました。順調にいけば56年度に卒業です。あと数回の研修旅行とても期待しています。

研修先の各企業様への訪問でも、とても良い研修をさせていただきますが、行き返りの道中であったり、食事や懇親会をいつも楽しみにしています。今年度の旅行でも、隣の席になる会員と冗談を言いながらもいつも刺激され、普段を振り返る良い機会になりました。

来年度以降も、ぜひ多くの会員で研修旅行に参加してたくさん刺激を共有できれば良いと思います。いつも眠くなって寝てしまいますが、良い仲間と語り合い、気が付けば朝を迎えていることを「夢」としています。年々寝る時間が早まり、実現の期待度は下がりますが来期こそは！

どうぞお付き合いよろしくお願いたします。

## 「研修旅行を振り返り」

長屋 是通

海沿い特有のさわやかな風を浴びながら、山下公園を1人ランニングしながら、強い思いにかられました。「やっば、横浜はいい!!」。研修企業先である2社とも、後継者である若き社長が、試行錯誤をしながら前向きに企業活動をされている風土が強く現れており、とても感銘を受けました。ファミリー企業の特徴でもある、後継者が会社を引き継いだ場合、現状のまま行くのか、それとも新たな改革をして自分なりの風土に変えていくのか大きく分かります。特に後者は大きなエネルギーは必要ですが、自身の代に「何を新たに創りあげたか」という自分史を作り、後世に繋いでいく事にもなります。今回このような旅行を設定していただきました、加納会長をはじめとした関係者の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

## 「100万ドルの夜」

吉田 大助

旅行の醍醐味の一つに、「風土文化に触れること」があります。そのキッカケが仲間の誘いや、自分で事前に調べた情報、そもそも旅程と様々ですが、「旅の楽しみは偶然性にある」ことも考慮すれば、平野歴代と田中さんと過ごした夜の事を遺しておきたいと思います。ホテルニューグランド。多くの賓客を迎え、チャップリンやベープ・ルース、GHQのマッカーサー元帥等が滞在した有名なクラシックホテル。平野歴代の解説を伺いながら歩く道中、浜風の悪戯で田中さんのスカートが舞いマリリンモンローの有名なシーンを再現。ウォ(笑) そのホテル内のバーで飲んだカクテル「ミリオンダラー」。異国情緒漂う中、OJBという出会いについて味わう夜。人生で初めて気持ち良く酔いました。そして時を超え、チャップリンに「人生に必要なもの。それは勇気と想像力とほんのちょっとのお金さ」と励まされ… 心地よい酒と、昼間の2社での研修が影響している事は間違いない。今回もありがとうございました！

## 「研修旅行の学び」

北野 英樹

今回の研修旅行はCSRに力を入れておられる2社。社会や地域に貢献する姿勢、環境への取り組み、社員教育、すべてに感銘を受けました。特に直接会社に訪れた中で感じたのはどの社員の方もイキイキとされていた事。楽しく、やりがいを持って働いているのが良く分かりました。

そして、何より学ばせて頂いたのは、私たちを受け入れる姿勢でした。時間を掛けて、心を込めて対応していただいているうちに、今まで自社のいたらない雑な対応が恥ずかしくなってきました。すぐにでも真似をしてみようと思います。

株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様、貴重な経験を本当にありがとうございました。また、加納会長、足立幹事長を始めとした役員の皆様、OJBならではの学びのある旅行をありがとうございました。

## 「地域と企業と人の連動発展」

大橋 誠治

今回は横浜のプレミアム認定企業の株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様を訪問させていただきました。いずれも優れた企業様であるのは申し上げるまでもありませんが、共通して感じ取れるイデオロギーがありました。社会的な責任認識や未来を見据えた思いの実践、勿論CSRもそうですが、いかに社会との存在意識の共有化が大事なのかを肌で感じる研修でした。地域の年代層を問わない一体意識、決して大きな企業様では有りませんが、双方の社長様が表現の仕方は違うにしても、中小零細企業であるならば尚更不可欠な要素であることを分かりやすく熱心にお伝えいただいたことに感銘いたしました。弊社としても勿論ですが、当会の指針にもより検討していかなくてはならない社会と共に発展という分野であることも感じました。

今回の横浜研修は大変、奥深く考えさせられる部分も多い体験でした。このような研修先を選定していただきました加納会長はじめ関係者に深く感謝いたします。有難うございました。

また、研修後の懇親会、翌日の観光等、とても有意義に会員の皆様と時間を共有でき、大変楽しい研修旅行であったこともいい思い出になりました。段取りに色々関係した皆様、そして、ご一緒させていただきました会員の皆様に今一度感謝申し上げまして、感想文とさせていただきます。有難うございました。

## 「研修旅行に参加して」

岸上 奨

今回の研修旅行は横浜だということでもっとも楽しみにしておりました。地域密着型の企業研修が盛り込まれていたからです。食品製造をしているわが社より、衛生管理・環境配慮が行き届いていた株式会社大川印刷様、地域交流・地域貢献を積極的に取り組まれておられた株式会社スリーハイ様。そして両社とも従業員が楽しんで働かされていた姿を見て、私は大変刺激を受け今後の経営に取り組んでいきたい要素だと思いました。印刷同様、心配りが細部まで行き届き、ヒーターで私の心の商売意欲に火がついてしまった研修となりました。横浜中華街の宴会等では、自分のお腹が満足しただけではなく、仲間たちとの交流も深めることができ、残り少ないOJB現役生活の思い出の1ページとなりました。みなさんありがとうございました。

## 「たった2時間余りの研修旅行」

河合 孝浩

今年度の研修旅行は諸事情により、株式会社大川印刷様の訪問のみ参加させていただきました。

従業員数も40名位の中小企業であるが、私の知っているそれとは雰囲気少し違った。

従業員の方々が笑顔で出迎え、挨拶をして下さる。小売業や飲食店では当たり前のことのようにだが、製造業ではなかなか出来ることではない。従業員の満足感、やりがい感が笑顔と共に溢れ出していると感じた。

大川社長様を中心に経営側の努力の賜物だと思います。素晴らしい企業を訪問させていただきました。加納会長、役員の皆様、素晴らしい企画をしていただきありがとうございました。

## 「迎える気持ち」

近沢 正

重役会研修旅行の醍醐味といいますと、機会がなく普段なかなか話せなかった会員と、大垣を離れて貴重な時間を過ごせる事もそのひとつです。新幹線の席はランダム。偶然となりになった会員との会話は思いがけず盛り上がりました。こんな一面もあったんだ！と。

さて、今回の横浜研修旅行、研修企業は2社。どちらも万全の体勢でお出迎えいただき大変恐縮しました。ただでさえ高まっていた気持ちがさらに高まりました。株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様には大変お世話になり貴重な研修の時間を過ごす事ができました。大垣に持ち帰り活用させていただきたい事例もお聞きできました。会長、幹事長はじめ執行部の皆様には企画段階から旅行当日まで大変お世話になりました。ご一緒させていただいた皆様にも感謝いたします。ありがとうございました。

ご一緒させていただいた皆さまにも感謝いたします。ありがとうございました。

## 「研修旅行に参加して」

足立 貴保

横浜の地へ降り立ってすぐに、株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様への企業訪問から始まった今回の横浜研修旅行は、訪問企業両社とも手書きのウェルカムボードに始まる心づくしのおもてなしを受け、企業訪問の内容に関しても各社の皆様が私どもにとって何か得るものがあるようにと、多くの時間をかけ知恵を絞って頂いたことがよく分かる内容で心から感動させられました。商品の品質の向上、職場環境の向上、地域社会への貢献などのCSR活動から企業が得られることが企業自身にとって必要なことであるとよく理解できました。同時にCSR活動を継続して行っていくことの大変さもよくわかり、改めて両社の取り組みの素晴らしさを感じました。

私も自分の会社が、お客様に、従業員に、社会に、必要とされる企業であるために、CSR活動への取組についてこれから真剣に考えて行こうと思います。

最後になりましたが、今回の旅行で会員の皆様と親睦をより深めることが出来て、とてもうれしく思いました。ありがとうございました。





### 「研修旅行をふりかえって」

田中 真奈美

今年度の研修旅行は、横浜市経済局より「横浜型地域貢献企業」に認定され「プレミアム企業」として表彰された、株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様に企業見学訪問させていただきました。

企業が果たす社会への責任を社内までよく浸透され、社員の皆様が理解され自ら実践されている姿を直にみさせていただきました。何よりやはり、社員の皆様の誇りと自信にあふれた輝く瞳がとても印象的でした。

企業経営に余裕がなければ、CSRの実践は出来ないのではないかと考えていた私がとても恥ずかしく感じられました。

浸透するまで時間を必要とするかもしれませんが結果的には、社会から信頼され持続性のある企業に成長できることを確信しました。

加納会長はじめ役員の方さま、こんな素晴らしい機会を作ってくださいましてありがとうございます。またご参加された会員の皆さま、皆さまと語らう時間がとても勉強になりました。ありがとうございました。感謝\(^)/

### 「浜風に吹かれながら」

上野 和幸

東京人が劣等感を感じる二つの地域がある。それは京都と横浜だ。という話を昔聞いた事がある。なるほど、横浜界隈の持つ独特の空気感はとても洗練されていて、上記の話も納得がいく。活気があってオシャレ、これ以上何を望むものがあるのだろうか和田舎者の自分なんかは思うのだが、それはそれ、住んでいる人は悩みが付きにくい。そんな話を地元の方からたくさん聞かせて頂いて、大変勉強になった。どこにいたって悩みのない生活なんてないし、逆にどこにいたって満足できる心持ちの人は満足できるのだ。その事を気づかせてくれた今回の研修旅行先を選定して頂いた会長には、感謝の気持ちでいっぱいである。とりあえず、横浜で余生を過ごせる方法はないかが目下の自分の悩みである

### 「CSRと企業戦略」

川瀬 竜也

地域貢献企業に認定され、プレミアム企業として表彰された会社の社長様から「CSR」と聞いた時、ウチのような小さな会社じゃムリだなあ・・・と思いました。奉仕活動や環境保護が大切であるとは気づいていながら、CSRは本業とは関わりにくく、どちらかといえば大きな会社のイメージアップの為という概念があったからです。ところが今回訪問させていただいた2社へ伺うと、CSRを本業と同一視し、企業戦略に活かしておられることが分かりました。また、その方針に従業員が感得し、それぞれ自立した意見を持って生き生きと働いている姿がとても印象的でした。大川印刷様の、2020年の企業目標は従業員が決めた、というお話は私の望むボトムアップの最前線ではないかと感じました。

今回の研修旅行では、私の経営者としての今後目指すべき姿を見せられたような気がします。たいへん良い研修をさせていただきました、ありがとうございました。



### 「研修旅行を終えて」

小林 諒士

0JBに入会して4回目の研修旅行になりました。まず初めにお伺いさせていただいた株式会社大川印刷様は、誰もが知っている崎陽軒などのパッケージを作成している会社で、CSRという企業が倫理観点から事業活動を通じて自主的に社会貢献をしている取組が印象的でした。また続いてお伺いした株式会社スリーハイ様では社員1人1人が責任を持って行動をし、助け合う、協力するといった事をモットーに、朝礼は一時間半行い、一人一人今週の目標を発表します。自分には考えられないやり方で大変驚きました。研修二日目は横須賀観光と八幡宮ドブ板通りを散策して横浜の歴史を勉強できました。

今回もたくさんの学びある旅行となりました。加納会長ありがとうございました。

### 「研修旅行に参加して」

清水 裕雅

今回、訪問させて頂いた「株式会社大川印刷」「株式会社スリーハイ」の2社は、横浜型地域貢献企業であり、共に平成29年度のプレミアム企業に認定されたCSR活動に真剣に取り組んでいる企業でした。CSR活動は、資本力のある大企業でないとできないものと思っていましたが、2社共に現社長が先代からの悪しき慣習からの脱却をするため、また大企業に負けない競争力を得るために取り組んでいるとのこと。CSR活動に取り組むことで、社員の満足度が上がり、誇りを持って仕事に取り組んでいる様子を感じられました。約2時間という企業訪問の中で、我々に喜んでもらおうというおもてなしの心と共に、自社としても企業訪問をとおして学ばせてもらおうという前向きな気持ちが伝わるものでした。今の社風になるまでには、社長の粘り強い努力があったようです。私も向上心を忘れずに努力しなければいけないなと思いました。ありがとうございました。

### 「研修旅行～横浜を終えて」

松下 元嘉

今回は、株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様へ視察、見学に伺いました。株式会社大川印刷様では、佐藤製薬(ユンケル)やシューマイ崎陽軒の包装紙の印刷をメインに最新機械が設備され、速乾や時間短縮と効率化を進める中、傷や折曲り等、機械では見落としている箇所を最後は人の目で確認。AIの時代と言われる中、やはり最後は人なのだ改めて感じました。

株式会社スリーハイ様では、シートヒーターの製造をされており、既製品は無く、オーダーのみで、全てハンドメイドされていたことに驚きました。ETCゲートが凍らないようにヒーターを入れてあることは初めて知りました。また、何より会社の雰囲気良く楽しそうに仕事をされていて羨ましく思いましたし、目標にしたいなと思いました。

どちらの社長様も「リーダー1人と、それに付いていく人が2人居れば組織は変えられる」とおっしゃっていました。何かを始めたなら誰か協力者が現れるまで継続する事が大切であると学びました。



## 「研修旅行の感想」

臼井 俊治

0JBに入会して3年目にして、初めて研修旅行に参加できました。

午前と午後で、2つの企業で研修をさせていただきました。どちらの企業も、我々を温かく迎えてくださり、非常に充実した研修ができたものと思います。印象的だったのは、研修先の社員の皆様が仲良く生き生きと仕事をされていたことです。横浜という都会の企業ということで、社員様同士も都会にありがちな人間関係の希薄さがあるのだろうと想像していましたが、見事に裏切られました。

場所とか関係なしに、どこまで行っても「企業は人」であり、人が生き生きと働いてこそ、企業も成長するのだということを今さらながら痛感した研修旅行でした。

夜は、一人でグルメを求めて徘徊しました！おいしかったです。

## 「研修旅行を終えて」

高木 一也

今回研修旅行に参加させて頂き、誠にありがとうございました。

初日の研修予定であった2社のどちらの企業様でも、参加会員の名前が書かれたウェルカムボードでのお迎えをして頂いたことに驚きました。そして、私たちが研修に訪問している側であるはずなのに、2社様ともお互いに勉強をしようという思いで受け入れていただき、ありがとうございました。また、私たちが訪問するにあたって、当日を迎えるまでに社内での打ち合わせが、何度も行われていることが伝わってきて、とても素晴らしい時間を共有できたと思います。

仕事をしていく環境づくり、働く方を元気にし、気持ちをポジティブに変えていくとても素晴らしい企業様での研修でした。株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様、とても学ぶことが多い研修でした、誠にありがとうございました。

また、ご一緒させて頂いた皆様方、大変楽しく勉強できた研修旅行だったと思います。本当にありがとうございました。

## 「百聞は一見にしかず」

野原 実

今回の研修旅行もたくさんの学びを頂くことができました。まず企業訪問させて頂きました、株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様からは、CSRの取り組みによって、社内が活性化されている状態を生身で感じられる貴重な研修となりました。CSRは企業価値を高めることはもちろん、社員を元気にし、人間的にも成長できる仕組みなのだ、2社の社員様の姿から実感することができました。また株式会社大川印刷様のSDGSへの取り組みについても、再生エネルギーを商品に据える当店にとって、これからの時代が着実に脱炭素に向かっている事を実感させられる大変貴重な情報となりました。百聞は一見にしかず。百見は一行にしかず。今回の貴重な学びを、一つでも行動に移していきたいと思っております。

## 「横浜での研修旅行」

杉野 辰彦

今回の研修旅行は、横浜型地域貢献企業の中からプレミアム企業に認定された2社の企業訪問をさせて頂き、日頃では体験する事が出来ない学びの多い研修が出来、大変感謝いたしております。2社の企業様に到着後、社長様や従業員の方々の温かいおもてなしの素晴らしさに感激致しました。^

最初の研修先の株式会社大川印刷様は、印刷物を通じて様々なCSR活動に全社員で取り組んでおられ、それらの活動が会社のモチベーションに繋がっていく事を学ばせて頂きました。次の研修先の株式会社スリーハイ様は、社員の方々がアットホームな関係で、製品の説明や工場見学などで社長様を始め、社員の皆様の方々の温かさを感じました。質疑応答の時間で、営業の中山様のご質問に岐阜西濃の魅力伝える貴重な体験をさせて頂き、思い出に残る研修旅行となりました。

2日間、会員の方々と楽しい時間を過ごす事が出来、本当にありがとうございました。

## 「第52年度 0JB 研修旅行」

堀 隆男

特に印象深く感じたことは、訪問させていただいた株式会社大川印刷様、株式会社スリーハイ様ともに、従業員の方々が主役で、社長様は補佐役であったことです。

従業員様が主体的に、積極的に、前へ出て活躍する会社を社長様が共に作りあげて行き、まだできたもののフレッシュさを感じる程であったけれども、新しい形態への意欲と未来への希望が、人と社内環境から伝わってきました。それは正に私達の理想とする会社の姿であり、そうありたいと願う社長様の強い意欲と、実行力を感じることができ、勇気をいただくことができました。

もう一つとても感銘を受けた事があります。両社共に、おもてなしの心で迎えてくださり、とても丁寧に、そしてオープンに開いて社内の見学や会話に接してくださいました。甲板印刷したはがきやお手紙など、いくつもお土産もいただきました。このようなおもてなしがはたして自分だったらできるのだろうか？

そして、世界基準の環境や、地域貢献に対する取り組みなど、最先端の知識も知ることができ、とても楽しく学びの多い会社訪問でありました。

## 「旅行を振り返って」

金森 実輝彦

此度の事業で訪問させて頂いた2社から私が学んだ事を主に纏めると、「社会問題をビジネスで解決する」「社員が楽しく働ける環境作り」「企業の地域との関わり方」の3点です。それは先立って行われた研修委員会の事業「10年後の理想の自分の姿」という私に於いて大変な難題であった問いかけに対する答えとなりそうな光明を戴けたような気がしています。

その2社に共通していたのは、生き生きと働く社員の皆様と、その方々を温かい眼差しで見守る両経営者の姿であり、その根底には多くの意味を持った「愛」が流れているように感じました。その多くの「愛」が注がれた形が商品として表された時、自社の繁栄へと繋がるのでしょうか。10年後の自分は、そのように愛に溢れた人物となるよう努めていきたいと感じさせて戴けた事業でした。

このような機会を与えて戴けた全ての皆様に御礼申し上げます。







開会式で挨拶をする加納会長



司会をする高木親睦委員長



趣旨説明をする杉野親睦副委員長



OUT 1組目



OUT 2組目



OUT 3組目



OUT 4組目



OUT 5組目



始球式でナイスショット  
加納会長



## 第17回 土屋杯ゴルフコンペ表彰式

## 第17回 土屋杯ゴルフコンペ順位表



表彰式開会挨拶をする加納会長



司会進行 高木親睦委員長



準優勝 長屋会員



顧問賞を獲得した北野歴代



カントリー賞を獲得した牧村会員



小川真人 会員  
優勝おめでとうございます。

1位	小川 真人
2位	長屋 是通
3位	浅野 信哉
4位	北野 英樹
5位	川瀬 知哉
6位	上野 和幸
7位	川瀬 竜也
8位	松本 正平
9位	加納 浩二
10位	牧村 英治
11位	山口 猛
12位	高木 一也
13位	野原 実
14位	足立 貴保
15位	臼井 俊治
16位	杉野 辰彦
17位	近沢 正
18位	西松 恭伸

初めてゴルフコンペに参加させて頂いて、ゴルフというスポーツが紳士なスポーツということを知ることができました。一緒に回ってくださった先輩方がとても紳士な方達でマナーからアドバイスまでして頂き、学ばせていただくことができました。来年もぜひ参加させて頂きたいと思いました。

ps 来年はがつつり練習してから参加させていただきます。

広報 西松

第3回研修委員会では、「10年後理想とする自分・会社となる為に何をなすべきか」をテーマに、特別会員様にもご参加頂きながらの発表会、座談会を開催しました。



趣旨説明をする堀委員長



挨拶をする加納会長



司会進行をする白井副委員長



締め挨拶をする川瀬副会長

4グループに分かれ、考察タイムを経た後に、それぞれの理想とする未来について全員が発表を行いました。



各グループには、当日都合をつけて頂いた特別会員様にも入って頂き、貴重なアドバイスも多く頂きました。

## 7月(長計担当)例会のお知らせ



いかがわ まさし  
講師：五十川 将史 先生

演題：「ハローワーク採用の絶対法則 ～0円で欲しい人材を引き寄せる求人票の作り方～

人手不足、売り手市場と言われる昨近ですが、それでも人材採用をしたい！とお考えの会員様も多いと思います。7月例会では、日本唯一のハローワーク求人専門社労士である五十川先生から、無料のハローワークを徹底活用して、欲しい人材を引き寄せる術をお話し頂けます。ハローワークでの勤務経験を活かした人材採用のノウハウ、お聞き逃しなく！

## 7月に誕生日を迎える方をご紹介します

- |             |              |              |               |
|-------------|--------------|--------------|---------------|
| 2日 草野 洋司 会員 | 17日 吉田 大助 会員 | 19日 江森 正 会員  | 22日 石山 隆一 会員  |
| 22日 山口 猛 会員 | 26日 松田 俊治 会員 | 27日 中島 繁樹 会員 | 28日 奥田 祐太郎 会員 |